

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104060	学力向上推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		21,697	26,745		5,048
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	1,734	1,228		-506
	地方債	0	0		0
	その他	18,000	22,400		4,400
	一般財源	1,963	3,117		1,154

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

学力・体力の向上

事業開始の背景・経緯

児童生徒の学力向上を図るためには、少人数指導によるきめ細かな指導の充実と、教師の授業力及び指導力の向上が必要であると考え、この事業を開始した。
家庭学習の時間が県及び全国に比べて少なく、学習の定着が課題となっている。

事業概要

学力向上支援員・はなまき授業サポーター・中学サポーター 15,119千円
 学力調査等の結果を分析、学力向上の取組を支援する支援員、児童生徒の学力向上のためのサポーターの配置
 ICT支援員の配置 4,777千円
 GIGAスクール構想に伴い、ICT活用を推進する支援員の配置
 学習定着教材、到達度学力検査、知能検査 4,391千円
 教材「Gアップシート」の作成配布、到達度学力検査の実施、知能検査の実施
 漢字能力検定料助成 2,458千円
 小学5・6年生を対象に検定料を全額助成

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	及川 仁
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

- 学力向上推進事業 26,745千円
- 1 学力向上支援員 2,439千円
 学力調査等の結果を分析し、学力向上の取組を支援する学力向上支援員1名を配置
 報酬等 2,439,154円
 - 2 はなまき授業サポーター 8,573千円
 児童の学力向上を図るため、30名を超える学級を有する小学校(6校)にはなまき授業サポーター8名を配置
 報酬等 8,572,720円
 - 3 中学サポーター 4,107千円
 生徒の学力向上を図るため、30名を超える学級を有する中学校(4校)に中学サポーター4名を配置
 報酬等 4,107,225円
 - 4 ICT支援員 4,777千円
 小中学校におけるICT環境の活用を推進するため、ICT支援員2名を配置
 報酬等 4,776,835円
 - 5 学習定着教材の活用 1,206千円
 中学生の数学と英語の学力向上を図るため、補充教材として学習定着シート(Gアップシート)を活用
 印刷製本費 1,206,150円
 - 6 到達度学力検査(CRT) 2,155千円
 児童生徒の学力を把握するため、全国的に用いられている到達度学力検査を実施
 消耗品費 1,067,500円 検査料 1,087,430円
 - 7 知能検査 1,030千円
 個々に応じた学習指導の充実を図るため、到達度学力検査と関連する知能検査を実施
 消耗品費 599,960円 検査料 430,365円
 - 8 漢字能力検定料助成 2,458千円
 読解力向上と家庭学習の習慣、動機付けを図るため、小学5・6年生を対象に検定料(年1回分)を全額助成
 検定料 2,457,912円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104100	まなび交流学習事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		64	3		-61
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	64	3		-61

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	
			~

部重点施策における目標

学力・体力の向上

事業開始の背景・経緯

すべての児童に発達段階に応じた学びの場を提供することが市の責任であることから、この事業を開始する。

事業概要

まなび交流学習 3千円
小規模校と中規模校間で、音楽、体育、総合的な学習の時間等で行う交流学習を支援

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	及川 仁
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細 1

まなび交流学習事業 3千円

- 関係団体負担金 3千円
岩手県小規模・複式学校教育研究連盟負担金 3,000円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104140	体力向上実践推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		110	106		-4
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	110	106		-4

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~		
------	-------	------	---	--	--

部重点施策における目標

学力・体力の向上

事業開始の背景・経緯

各校における課題等が異なるため、統一的な取り組みでは十分な成果を上げることが難しいと判断し、各校の現状に即した取り組みを支援することとした。

事業概要

体力向上の取組を支援 106千円
実践校を指定し、各校の特色を生かした基礎体力向上のための取組を支援

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	及川 仁
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細 1

体力向上実践推進事業 106千円

- 実践校の取組を支援
実践校（矢沢小、石鳥谷小、東和小）を指定し、各校の特色を生かした基礎体力向上のための取組を支援
講師謝礼 53,000円 講師旅費 6,560円 消耗品費 46,113円

〔現状と課題〕
全国的な風潮と同様に、当市の児童生徒も「体を使った遊び」の時間が少なく、またこれに伴い、体を使う楽しさを見出せていない状況から、基礎体力の向上が目に見えて進まない状況にある。

- 〔基礎体力向上のための取組例〕
- ・新体力テストの実施
 - ・業間運動（マラソン、縄跳び等）の継続的な実施
 - ・外部指導者を招聘しての「スポーツ教室」の実施
 - ・下半期に、児童の意識変化と、成績や記録が向上した児童の割合を調査し、事業の成果を確認

〔目指す児童生徒の姿〕
「走る」「跳ぶ」「投げる」運動を楽しむことができる、大きな「のびしろ」のある子どもの育成

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	02	104230	小学校外国語教育推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		30,328	30,395		67
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	22,000	27,300		5,300
	一般財源	8,328	3,095		-5,233

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

学力・体力の向上

事業開始の背景・経緯

国際化に対応するため、各自治体においてその取り組みが盛んに行われるようになり、本市では、昭和63年度より財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により外国語指導助手を招致、活用することとなった。現在は直接雇用及び委託でJETプログラムは活用せず。

事業概要

小学生外国語教育推進 27,732千円
各小学校に外国語指導助手（ALT）を派遣
外国語教育支援員の配置 2,663千円
市内小学校を巡回して教員への指導と助言

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	及川 仁
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細1

小学校外国語教育推進事業 30,395千円

- 小学生外国語教育推進 27,732千円
各小学校に外国語指導助手（ALT）6名を派遣
学級担任と外国語指導助手によるチーム・ティーチングを実施
小学3～6年生を対象に1クラス当たり週1回派遣
報酬等 5,027,562円 委託料 22,704,000円
- 外国語教育支援員の配置 2,663千円
小学校外国語教育の充実を図るため、外国語教育支援員1名を配置
市内小学校を巡回して、教員への助言と指導を行う。
報酬等 2,488,674円 燃料費 23,003円 自動車借上料 151,500円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	02	104280	中学校外国語教育推進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		23,505	24,484		979
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	17,000	22,000		5,000
	一般財源	6,505	2,484		-4,021

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
学力・体力の向上

事業開始の背景・経緯
国際化に対応するため、各自治体においてその取り組みが盛んに行われるようになり、本市では、昭和63年度より財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」により外国語指導助手を招致、活用することとなった。

事業概要
中学生外国語教育推進 17,424千円 各中学校に外国語指導助手(A L T)を派遣 英語検定料助成 7,060千円 各中学校で実施する英語検定の検定料を全額助成

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	及川 仁
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
中学校外国語教育推進事業 24,484千円
1 中学生外国語教育推進 17,424千円 各中学校に外国語指導助手(A L T)4名を派遣 1クラス当たり年間20時間 英語を主体とした授業、スピーチ・コンテスト指導、英語教員の研修補助、学習教材の作成等を実施
2 英語検定料助成 7,060千円 各中学校で実施する英語検定の検定料(年1回分)を全額助成

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	02	1042B0	修学旅行キャンセル料支援事業費（中学校）

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,886	1,395		-491
財源内訳	国費	1,886	0		-1,886
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	1,395		1,395

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	令和2年度 ~ 令和2年度
------	--	-------	--	------	---------------

部重点施策における目標

--	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

--	--	--	--	--	--

事業概要

修学旅行キャンセル料支援事業補助金 1,395千円 新型コロナウイルス感染症の影響により、修学旅行の実施時期や行先を変更したことに伴い発生したキャンセル料を支援する。					
--	--	--	--	--	--

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	及川 仁
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

修学旅行キャンセル料支援事業 1,395千円

- 1 修学旅行キャンセル料支援事業補助金 1,395,330円
 新型コロナウイルス感染症の影響により、修学旅行の実施時期や行先を変更したことに伴い発生したキャンセル料に対し補助

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	01	104710	学校保健事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		87,041	67,305		-19,736
財源内訳	国費	25,488	0		-25,488
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	3,066	6,681		3,615
	一般財源	58,487	60,624		2,137

特定財源の内訳	
事業期間	単年度繰返 期間限定 ~

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

学力・体力を高める

事業開始の背景・経緯

昭和33年制定の学校保健法（現：学校保健安全法）に基づき、児童生徒及び教職員の健康安全を保持増進するために、学校において保健管理を実施している。

事業概要

学校保健管理 67,135千円
 児童生徒や教職員の健康保持のための学校医等の確保や各種健診の実施
 花巻市学校保健会補助 170千円
 学校保健の推進向上を図る事業を実施する花巻市学校保健会への補助

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

児童生徒の生活習慣病予防については、家庭での規則正しい食生活が予防のポイントであり、掛かりつけの病院の医師から本人と保護者への継続的指導が一番効果的なことから、学校長を通じて受診するよう促していくものとする。

事業手法の詳細1

学校保健事業 R3 67,305千円（R2 87,041千円 前年度比 19,736千円）

1. 学校保健管理 67,135千円（R2 86,841千円 19,706千円）
 児童生徒の健康保持のための健診及び検査に要する費用
 1節 報酬 ・学校医、学校歯科医、学校薬剤師 学校医等報酬 22,243千円
 7節 謝礼金 ・健診時看護師謝礼金 385千円、学校保健委員会出席謝礼金 36千円
 8節 旅費 ・就学時健診に際する費用弁償 1千円
 10節 需用費 ・消耗品費 4,079千円、印刷費 1,003千円（結核健診問診票、封筒、健康観察簿、健康カード、健康診断票等）、医薬材料費 5,042千円
 11節 役務費 ・通信運搬費 117千円、手数料 700千円（学校プール水質検査、オーゾメータ点検等）、保険料 6,254千円（日本スポーツ振興センター、岩手県学校安全互助会）
 12節 委託料 ・教職員健診業務委託 7,206千円、児童生徒健診業務委託 13,167千円
 13節 賃借料 ・自動車借上料 309千円、AED借上料 1,677千円
 17節 備品購入費 ・学校保健用備品購入 692千円、AED購入 4,224千円
2. 花巻市学校保健会補助 R3 170千円（R1 200千円 30）
 学校保健の推進向上を図る事業を実施する花巻市学校保健会への補助金交付 170千円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	01	104720	小中学校スポーツ振興事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		2,130	2,161		31
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	2,130	2,161		31

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

学力・体力の向上

事業開始の背景・経緯

中学校総合体育大会等の各種大会を当該団体の主催事業として実施するに当たり、当該団体を構成する学校が所在する市町村において、その経費の一部を負担し、円滑な大会運営を支援している。

事業概要

小中学校各体育連盟の活動支援 2,161千円
各体育連盟事業補助金、県中総体開催事業補助金

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	及川 仁
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細 1

小中学校スポーツ振興事業 2,161千円

- 1 花巻市小学校体育連盟事業補助金 61,340円
市小学校体育連盟が実施する各種事業に対し補助
- 2 花巻市中学校体育連盟事業補助金 2,000,000円
市中学校体育連盟が実施する各種事業に対し補助
- 3 岩手県中学校総合体育大会開催事業補助金 100,000円
市内で開催された岩手県中学校総合体育大会（ソフトボール・バスケットボール）に対し補助